

# 富岡町災害復興計畫（第一次）

## 【概要版】

平成24年9月

富 岡 町

# 目次

町民の皆様へ.....	1
第1章 復興計画の策定にあたって.....	1
(1) 計画の趣旨・位置づけ.....	1
(2) 帰還時期について.....	1
(3) 計画期間.....	2
(4) 計画の推進体制.....	2
(5) 計画の見直しと進捗管理.....	2
第2章 基本理念と基本方針.....	3
(1) 基本理念.....	3
(2) 基本方針.....	4
(3) 広域的な連携・役割分担・地域の決定.....	5
第3章 重点事業.....	6
(1) 富岡町内等の生活拠点「さくら富岡」の形成及び町内の復旧・復興.....	6
【重点事業①】除染推進事業.....	6
【重点事業②】インフラ復旧・整備事業（本所）.....	7
【重点事業③】雇用確保事業.....	8
【重点事業④】健康管理事業（本所）.....	8
【重点事業⑤】絆づくり事業（本所）.....	8
(2) 町外の生活拠点「つつじ富岡」「せきれい富岡」の形成.....	9
【重点事業②】インフラ整備事業（サテライト）.....	9
【重点事業④】健康管理事業（サテライト）.....	9
【重点事業⑤】絆づくり事業（サテライト）.....	10
第4章 富岡町の将来像について.....	11
(1) 将来像の基本的な考え方.....	11
(2) 将来像の段階的整備の実現.....	11
第5章 施策・事業.....	15
I. 帰還できる町民への施策.....	15
1. 最優先での除染等実施.....	15
2. 雇用の確保と産業の再興・活性化.....	16
3. 都市基盤の整備.....	17
4. 住宅再建と生活環境の向上.....	19
5. 健康福祉の再生・充実.....	21
6. 教育と学習の再生・充実.....	22
II. 当面帰還できない町民への施策.....	24
7. 住宅再建と生活環境の向上.....	24
8. 健康福祉の環境づくり.....	25
9. 教育と学習の環境づくり.....	25

## 東日本大震災後の町の状況報告

— 地震・津波・原子力災害 —



町の木「さくら」



町の花「つつじ」

平成24年12月24日

福島県富岡町

### 1. 富岡町の位置付け

福島県の浜通りのほぼ中央にあり、北は大熊町、西は川内村、南は檜葉町とそれぞれ境界を接しており、東京から約 253.6km、仙台から約 112.9km の距離にあり、東経 141 度 40 秒、北緯 37 度 20 分 40 秒に位置し、面積 68.47 km<sup>2</sup>です。

地勢は、東には太平洋が広がり、西には阿武隈山地が南北に横たわっております。また、町内にはこの阿武隈山地を水源とする富岡川と紅葉川の二つの河川が、それぞれ町の中央部と南部を西から東へ流れ、いずれも太平洋に注いでいます。

広域交通網としては、常磐自動車道や南北に走る国道 6 号の他、JR 常磐線、東西方向に貫く県道小野・富岡線がありますが、今後、予定される常磐自動車道の富岡以北延伸や県道広野小高線の延伸により高速交通体系で全国とダイレクトに結ばれようとしております。

### 2. 気象

年間平均気温は、約 13.4℃で 1 月の平均気温は 4.0℃、8 月の平均気温は 26.4℃であり積雪も少なく四季を通じてしのぎやすい温暖な気候であります。

平成 22 年

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均
平均気温	4.0	2.9	5.2	8.2	14.0	19.6	24.3	26.4	21.7	16.2	11.1	7.1	13.4
雨量	105	59	110	247	189	165	118	8	280	190	48	200	143.2

### 3. 人口「国勢調査報告」

平成 17 年の国勢調査から平成 22 年の間で、人口が増加しているのは、これまでの取り組んできたまちづくりが寄与しているものと思われます。

今後も、町が活力に満ちた持続可能な社会を築くために多くの人々が住み、町民同士が支えあえる町づくりを目指してまいります。

年次	区分 人口 (人)	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		0~14 歳	構成比	15~64	構成比	65 歳~	構成比
昭和 40 年	11,948						
昭和 45 年	11,614						
昭和 50 年	12,770						
昭和 55 年	14,941						
昭和 60 年	15,895	3,947	24.8%	10,378	65.3%	1,569	9.9%
平成 2 年	15,861	3,579	22.6%	10,285	64.8%	1,997	12.6%
平成 7 年	16,033	3,153	19.7%	10,411	64.9%	2,469	15.4%
平成 12 年	16,173	2,824	17.5%	10,438	64.5%	2,911	18.0%
平成 17 年	15,910	2,545	16.0%	10,294	64.7%	3,071	19.3%
平成 22 年	16,001	2,320	14.5%	10,225	63.9%	3,456	21.6%

#### 4. 産業

昭和40年代に入って富岡町をはじめ福島県の太平洋沿い“浜通り”に東京電力の発電所建設が始まり、主に首都圏への電力を供給し日本の経済の発展に寄与してきました。

地域における産業活性化は、地域の農林水産物を活用した地域独自の産物の加工や既存企業の事業活性化など、地域にある資源を活用した産業振興が主流となっており、特に農業については、環境に配慮し、安全で安心な農産物の供給体制を確立するため、循環型農業による有機栽培、特別栽培を推奨し、実施農家に対しての助成を行いながら、生産拡大・高付加価値化を図ってきた。

その結果、米などの安定した大口の取引先を確保することができました。

水産業は、南から黒潮と北からの親潮がぶつかり合うため、良い漁場に恵まれ、スズキ、ヒラメ、カレイ、アイナメなど100種類を超える多くの魚介類が水揚げされている。

更には、観光拠点・憩いの拠点として「海の駅」の整備を進めており、今後、整備された施設を活用し、豊富な水産資源の直接販売や関係機関と連携し、水産業の振興を図ることとしています。

(産業別就業者数の推移)

事業所・企業統計

年次 区分	昭和45年		昭和50年		昭和55年		昭和60年		平成2年	
	就 業	構成比								
第1次産業	2,228	38.6%	1,569	25.2%	1,073	14.4%	906	11.7	761	9.7
第2次産業	1,199	20.8%	1,980	31.9%	3,023	40.5%	2,839	36.5	3,011	38.3
第3次産業	2,342	40.6%	2,660	42.8%	3,367	45.1%	3,981	51.4	4,081	52.0
分類不能	1	0.0%	8	0.1%	0	0.0%	12	0.2%	1	0.0
計	5,770	100.0	6,217	100.0	7,463	100.0	7,738	100.0	7,854	100.0

年次 区分	平成7年		平成12年		平成17年	
	就 業	構成比	就 業	構成比	就 業	構成比
第1次産業	580	7.2%	527	6.5%	490	6.3
第2次産業	2,653	33.2%	2,816	34.5%	2,571	32.9%
第3次産業	4,762	59.5%	4,803	58.8%	4,740	60.7%
分類不能	5	0.1%	24	0.2%	6	0.1
計	8,000	100.0	8,170	100.0	7,807	100.0

#### 5. 住環境の整備

町民の日常生活や生産活動など様々な活動を支えております。また、平成16年4月に開通した常磐富岡ICにより首都圏と結ばれ、地域産業の活性化、地域交流が盛んになるとともに、町民に利活用されています。

(道路状況)

平成22年4月1日

	路 数	実延長	舗 装	未舗装	舗装率
国 道	1	8,683 m	8,683 m	0 m	100.0%
県 道	9	42,686	42,686	0	100.0%
町 道	285	156,826	146,036	10,790	93.1%
計	295	208,195	197,405	10,790	94.8%

(高速道路利用台数)

平成16年4月開通

	平成17年度	平成21年度
常磐富岡 IC 利用台数 (入車)	420,616 台	513,820 台
常磐富岡 IC 利用台数 (出車)	474,410	555,621
計	895,026	1,069,441

(上下水道状況)

町の水源は、主として3箇所の水源地からまかなっておりますが、木戸ダムが完成し、上水と工業用水が一部給水されました。安定した給水を持続するため、また、安心できる水を提供するため、計画的に経年管の更新などを進めております。

公共下水道については、昭和62年度から整備を行っており、事業認可区域面積331haの95%に相当する316haが整備され供用されました。また、特定環境保全公共下水道事業や農業集落排水事業でも下水道が整備されており、適正な維持管理に努め良好な水処理を確保しております。

上水道給水状況の水位

区分	給水人口	給水世帯	給水量	1日当給水量	1人当年間給水量	普及率
平成17年度	15,174人	5,446	2,216千m <sup>3</sup>	6,071 m <sup>3</sup>	144,704 ℓ	97.1%
平成18年度	15,335	5,954	2,191	6,002	142,875	97.1
平成19年度	15,371	5,902	2,047	5,607	133,154	97.1
平成20年度	15,317	5,977	2,486	6,811	162,301	97.1
平成21年度	15,140	5,798	2,767	7,582	182,783	96.7

下水道施設状況

(平成22年3月末日現在)

下水道の種類	利用件数	利用者数	接続率	普及率
公共下水道	3,438世帯	7,628人	93.9%	51.2%
特定環境下水道	81	623	99.2	4.0
農業集落排水	633	2,025	86.5	14.8
計	4,152	10,276	92.6	70.0

(公園緑地状況)

町民の生活にとって潤いと安らぎを提供する場であるとともに、災害時における避難場所としても重要な役割を担っております。地域においては、豊かな自然に恵まれ、市街地においても夜の森公園やその周辺の桜並木、夜ノ森駅のツツジなど他に誇れる緑の景観があります。

公園面積

	平成17年度	平成21年度
都市公園	95,800 m <sup>2</sup>	95,800 m <sup>2</sup>
その他公園	17,424	16,807
計	113,224	112,607

## 東日本大震災における富岡町震災状況

### (1) 地震被害

3月11日14時46分三陸沖を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生。

マグニチュード9.0、当町では震度6強を記録する国内観測史上最大の地震でありました。

富岡町の被害状況の把握は、原子力災害による警戒区域内にあるため、被害調査を実施できない状況下にあるが、行方不明者の捜索活動や一時帰宅の際に確認された範囲では、全壊した家屋は一部であると思われるが、屋根の損壊やブロック塀の倒壊は多数発生しております。

現在は、住民の強い要望もあり屋根のぐし瓦へのシート掛けを放射線量の測定のうえ実施しております。

道路状況については、陥没や寸断、下水道マンホールは液状化現象により浮き上がるなど多数の被害が出ております。

### (2) 津波被害

仏浜、毛萱、小浜、富岡駅前地区が最大21.1mの津波により多くの生命、財産が失われるとともに、JR富岡駅や線路、下水道の処理場、漁港や完成したばかりの「海の駅」の駐車場、道路など重要な都市施設に大きな被害が発生しました。

また、農地は冠水し用排水路の流出や損壊があります。農業生産は、塩害の対策を講じなければ困難な状況であります。

(平成24年11月30日現在)

被害戸数(全壊・全流失)	約125戸	死亡者数 ※	145人
被害戸数(大規模半壊)	約26戸	行方不明者数	1人
被害戸数(半壊)	約30戸		
被災者生活再建支援金申請者数			210名

※原子力災害に係る避難中の関連死(122人)を含む。

### (3) 原子力災害

世界的にも類を見ない大規模な原子力災害となりました。

福島第一原子力発電所は、震災発生後の初期対応の遅れが大災害となったものであり、その影響の大きさは計り知れないものとなっています。

富岡町としては、3月12日に内閣総理大臣より福島第一原子力発電所から半径20km圏内の住民に対する避難指示があり近隣の川内村に避難しました。

3月15日に内閣総理大臣から新たに福島第一原子力発電所から半径20kmから30km圏内の住民に対する屋内退避の指示が出たため、3月16日川内村とともに郡山市(ビッグパレットふくしま)に避難いたしました。

「先の見通し」がたたない中、政府と東京電力は、事故収束作業で初期対応に当たるステップ1の「原子炉の安定冷却」などの目標が概ね達成が出来たと7月17日に終了宣言し、原子炉のより安定的な冷却(冷温停止状態)や放射性物質の放出抑制などを目標としたステップ2についても12月16日に完了宣言がなされたところです。

今後についても、帰還に向けた除染作業や数十年にわたる廃炉・解体作業など、困難な問題が多数存在しています。

(4) 人口動態・安否確認状況

○3月11日以降の住民登録状況（外国籍を除く）

	人 数	世 帯 数
平成23年3月11日現在(A)	15,830人	6,302世帯
平成24年11月末現在(B)	14,496人	5,806世帯
(B) — (A)	△1,334人	△496世帯

○ 避難者の安否確認状況（平成24年11月30日現在。外国籍を含む）

	3月11日の登録数	確認済み数	確 認 率
世帯数	6,331世帯	6,322世帯	99.86%
人 数	15,916人	15,907人	99.94%

○ 県内・県外の避難者数（平成24年11月30日現在。3月11日以降の死亡者等を除く）

	人 数	住 居 地	確 認 率
県 内	11,029人	42市町村	70.81%
県 外	4,547人	45都道府県	29.19%

\*3月11日以降の転出者及び外国籍を含みます。

(5) 避難状況

○一次避難所

(3月12日)

・川内村避難 約6,000名

(3月16日)

・郡山市（ビックパレット他3箇所）避難 約1,700名

・三春町（体育館他3箇所）避難 約400名

・田村市（総合体育館他6箇所）避難 約450名

・本宮市、小野町 約100名

・埼玉県杉戸町 約250名

○二次避難所

(4月1日以降)

・磐梯熱海 華の湯他28施設 約2,500名

★一次避難所、二次避難所については概ね9月末日をもって閉所となりました。

(6) 一時帰宅

(平成24年12月3日現在)

一時帰宅	申請世帯	申請者数	実施世帯	実施者数	進捗率
個人の立入り(一巡目)	4,892世帯	8,047人	4,892世帯	8,047人	100%
〃 (二巡目)	5,040世帯	11,338人	5,024世帯	11,301人	100%
〃 (三巡目)	5,085世帯	12,189人	4,240世帯	10,025人	100%
〃 (四巡目)	3,948世帯	9,555人	3,845世帯	9,135人	100%

個人の立入り(五巡目)	3,593世帯	8,993人	3,501世帯	8,429名	100%
個人の立入り(六巡目)	3,231世帯		2,251世帯		69.7%
法人の立入り		5,338社		5,203社	97.5%
車の持ち出し(一巡目)	1,486世帯	1,644台	955世帯	955台	100%
〃    (二巡目)	152世帯	152台	126世帯	126台	100%
〃    (三巡目)	24世帯	24台	10世帯	10台	100%

※個人の立入りでの申請者の内、日程的な都合や立入りを行う必要が無くなったためにキャンセルした者があった。

※車両の持ち出しの申請者の内、廃車等の理由によりキャンセルした者があった。

(7) 応急仮設住宅の入居状況

(平成24年11月30日現在)

建設地区		建設戸数	入居戸数	入居人数	入居率
郡山市	BPF北側他2地区	622戸	558戸	920人	89.7%
三春町	三春の里他5地区	330	234	413	70.9%
大玉村		330	259	433	78.5%
いわき市	泉玉露他2地区	372	363	787	97.6%
小計		1,654	1,414	2,553	85.5%
県内借上げ住宅(一般)		170戸		420人	
県内借上げ住宅(特例)		3,377戸		8,021人	
県営住宅等		35戸		119人	
小計		3,582戸		8,560人	
合計		4,996戸		11,113人	

※入居人数については申請時の入居予定人数であり、実際の入居者数と異なる場合がある。

(8) 復興に向けた取り組み

- 富岡町役場郡山出張所 (BPF内) 平成23年4月14日開設
- 富岡町役場郡山事務所 (市内大槻町) 平成23年12月19日移転
- いわき、三春、大玉出張所 平成23年12月19日開設
- 富岡町災害復興ビジョン策定 平成24年1月30日策定
  - ・復興プロジェクト班の設置 平成23年7月14日設置 (職員4名)
  - ・富岡町復興ビジョン策定委員会設置 平成23年8月26日 第1回委員会開催 (平成24年1月30日まで7回開催)
  - ・富岡町復興ビジョン3つの柱
    - 減災・防災のまちづくり
    - 産業の再生と発展のまちづくり

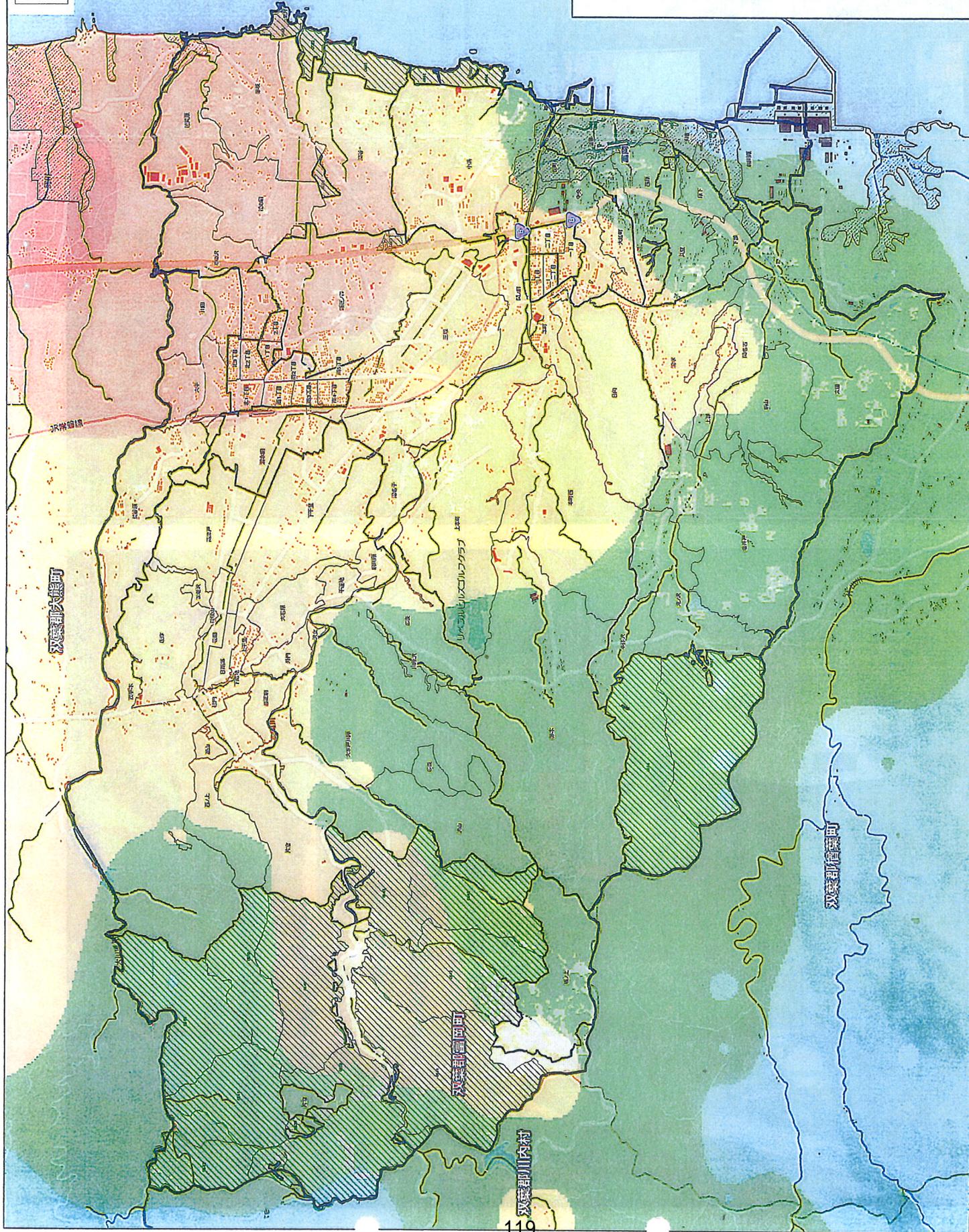
● 住みよい住環境のまちづくり

- 富岡町災害復興計画策定 平成24年9月26日議会承認
  - ・富岡町災害復興計画策定委員会設置 平成23年12月23日 第1回委員会開催  
(平成24年7月27日まで7回開催)
- 町民意向調査 平成24年7月6日～8月22日
- 住民意向調査(復興庁・福島県・富岡町) 平成24年12月4日～18日
- 福島第一原子力発電所事故に伴う富岡町の帰還に関する宣言 (平成24年9月26日)
- 除染事業
  - ・夜の森地区除染モデル事業説明会(平成23年11月29日)  
(夜の森公園周辺・富岡第二中学校の除染作業を平成24年1月～2月に実施)
  - ・自衛隊による役場庁舎除染(平成23年12月5日～18日)
  - ・常磐自動車道、双葉汚泥再生処理センターなど
- 区域再編
  - ・避難区域再編案策定(平成24年12月4日 町議会全員協議会承認)
- (9) 当面の課題とその対応
- 住民への情報提供
  - ・ホームページによる情報提供
  - ・とみおか町災害情報誌の発行(月2回)
  - ・町民コミュニティ支援システム(第1次)稼働 平成24年9月3日  
タブレット型情報端末による情報配信(8月末までに3,042台配布)
  - ・国による町民説明会 平成24年9月1日(いわき市)、2日(郡山市)
- 全国に広範囲に避難した住民への生活支援及び行政サービスの提供
- 県内仮設及び借上げ住宅入居者への支援
  - ・生活支援バスの運行(各仮設所内)
  - ・仮設診療所の設置(大玉村・・・平成23年8月1日開設)
  - ・情報提供センターの設置運営
    - ふくしま絆カフェ富岡(郡山市・・・平成24年2月9日開所)
    - 富岡町さくらサロン(福島市・・・平成24年2月18日開所)
    - いわき平交流サロン(いわき市・・・平成24年10月1日開所)
    - いわき四倉交流サロン(いわき市・・・平成24年12月1日開所)
  - ・高齢者サポートセンターの開設
    - 大玉村(平成23年11月1日開所) 郡山市(平成24年2月20日事業開始)
    - 三春町(平成24年3月4日事業開始) いわき市(平成25年1月事業開始予定)
  - ・ボランティアセンターの設置運営 おだがいさまセンター  
(郡山市富田町高齢者サポートセンター内・・・平成24年2月15日開所)
- 学校の開設
  - ・富岡町立幼稚園小中学校の開設(三春町・・・平成23年9月1日開設)
- 健康調査
  - ・子どもたちの内部被ばく調査を平成23年10月11日から開始

(10) 復興に向けた今後の課題

- 富岡町内の詳細なモニタリング、除染
- 空間・土壌の除染及び瓦礫の処分
- 公共施設並びに地震被害及び原子力災害による家屋の調査
- 電気、水道、下水道等のライフライン整備
- ごみ処理やし尿処理等生活を営むための環境整備
- 新たな産業及び雇用の場の確保
- 津波被害・帰宅困難地域等の住民への災害復興住宅の建設
- 町民の健康管理
- 保育園、幼稚園、小中学校の再開

# 資料1



凡例

航空測定 (mSv/Yr)

- 150超
- 100超-150以下
- 50超-100以下
- 20超-50以下
- 10超-20以下
- 5超-10以下
- 1超-5以下
- 津波浸水範囲
- 計画的避難区域
- 警戒区域
- 国有林
- 積雪
- 雲

0 1 km

富岡町 2012年3月31日時点の線量分布(2月の航空機モニタリング結果を基に予測)

バックグラウンド 0.0434  $\mu$ Sv/h





## 附件十三 富田臨時住宅情報

### 富田仮設住宅情報

平成24年12月14日現在

仮設住宅建設戸数	287戸
仮設住宅入居世帯	272世帯
仮設住宅入居人数	416名

仮設住宅入居人数年代別内訳（入居者名簿調べ）

0～9	3人
10～19	7人
20～29	15人
30～39	40人
40～49	52人
50～59	52人
60～69	109人
70～79	116人
80～89	38人
90～99	5人